

信州大学医学部附属病院 整形外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年7月4日

「骨肉腫の増殖・転移における凝固・線溶系と血小板の役割」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4074
研究課題名	骨肉腫の増殖・転移における凝固・線溶系と血小板の役割
所属(診療科等)	整形外科
研究責任者(職名)	青木 薫 (医学部保健学科理学療法学専攻 准教授(特定雇用))
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年12月31日
研究の意義、目的	骨肉腫の増殖・転移における血小板の役割りを明らかにすることを目的とした研究で、骨肉腫の治療に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2000年1月1日から2015年12月31日の期間に当院で骨肉腫について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／手術で切除した組織
他機関への試料・情報の提供方法	郵送により提供します
研究方法	骨肉腫患者手術時(原発、転移を含めて)の検体を用いて、免疫組織化学的な評価を行います。凝固系や血小板のマーカーの発現を評価し、その発現の程度と患者予後に相関があるかを検討します。また、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません
共同研究機関名	山梨大学(責任者:市川二郎)、がん研有明病院(責任者:早川景子) 埼玉医大国際医療センター(責任者:川崎朋範)
研究代表者	主任施設の名称:山梨大学 研究責任者:市川二郎
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 青木 薫(信州大学医学部保健学科) 電話:0263-37-2659

既存の診療記録、検査結果、病理組織標本を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である山梨大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。